



あいじつ



開校145周年

思いやりの心で

いじめをしない・させない・許さない

校長 水野 睦子

「子どもたちはそれぞれの家の宝物。大事に、丁寧に、優しくするんだよ。」と教師生活をスタートするとき父に言われました。そんな宝物である子どもたちが過ごす学校は、安全で、安心できる場でなくてはなりません。それを脅かす大きな要因の1つがいじめです。いじめは、基本的人権の立場からも絶対に許してはならないことです。

東京都教育委員会では、6月、11月、2月を「ふれあい月間（いじめ防止強化月間）」と定めています。本校でもアンケートを実施し、必要な児童への面談や生活指導部を中心に組織的な指導を行っています。各学年の状況については、毎週木曜日の生活指導夕会、職員連絡会、学校サポートチーム会議等で周知し、全教職員で全児童を見守る態勢をとっています。また、スクールカウンセラーが子どもたちの相談に乗ったり、教室に行き、子どもたちの様子を見たり子どもたちと話をしたりしています。4月22日（火）から、5年生との全員面談も始まりしました。

本校では、今年度の学校経営方針で「思いやりの心」の育成を重点目標とし、相手の話を聞くこと、相手の気持ちを考えることの大切さを子どもたちに伝えています。互いの良さや違いを認め合い、相手を大切に思うという「思いやりの心」を学校生活の基盤とすることで、いじめのない学校をつくっていきます。

愛日小学校の児童全員が、安全で、安心して過ごすことができるよう、教職員一同「チーム愛日」として今後も努力を続けてまいります。ご心配なことなどある場合には、いつでもご連絡ください。

校内研究について

校内研究担当 小黒 靖子

今年度は「生き生きと自分の思いや考えを伝え合おうとする児童の育成」をテーマに、外国語や外国語活動の授業に重点を置いた研究に取り組んでいます。

子どもたちが互いに聞き合い、話し合いたくなるような授業づくりだけでなく、多様な言語や文化に触れる機会を増やすなど、学習環境づくりにも視点を置いて研究を進めていきます。外国語での読み聞かせや、イングリッシュキャラバン（7月11日）、タイから教職員をお招きしての国際交流（10月1日）など、子どもたちが外国の言語に触れ、生のコミュニケーションを通して国際理解を深めることのできる活動を計画しています。学校生活の様々な場面で、子どもたちの「伝えたい」思いが、「伝わってうれしい」「伝え合おうって楽しい」につながる研究になるよう努めています。

水泳指導について

水泳担当 木之下 諒人

今年も水遊び・水泳運動の季節がやってきました。今年度の指導期間は、6月16日（月）～9月26日（金）となります。

子どもの成長期とされる小学生の時期に、水に触れた学習をすることにはいくつかのメリットがあります。①風邪を引きにくくなる。②脳が活性化する。③適度な有酸素運動によるストレスの軽減。など、心身ともに非常に良い影響を与えてくれます。各学年10時間程度の学習となりますが、たくさん水に触れ合い、充実した学習となるように指導をしていきます。

水着や水泳帽、タオルの準備をお願いいたします。また、定期健康診断の項目で再検査をしないとプールに入れないものもありますので、早めの受診をお願いいたします。